

目 次

テレビ番組のモニタリング調査研究の計画	2
II テレビ番組のモニタリング調査結果の概要	
1. 高校生のテレビ視聴調査（資料1）	3
2. テレビ番組についての調査（生徒）（資料2）	5
3. テレビ番組についての調査（保護者）（資料3）	5
4. 保護者が子どもに見せたくない番組（テレビ番組についての調査（保護者）問3）と生徒が印象に残った番組（テレビ番組についての調査（生徒）問2）の比較	5
5. 保護者が子どもに見せたい番組（テレビ番組についての調査（保護者）問4）と生徒の印象に残った番組（テレビ番組の調査（生徒）問2）との比較	5
III 高校生のテレビ視聴調査の結果（資料1）	
1. 高校生テレビ視聴モニター数	6
2. 日にち別テレビ視聴番組数	6
3. 視聴時間帯	7
4. 日にち別視聴時間帯グラフ	8
5. 日にち別視聴数（上位10番組）	11
IV テレビ番組についての調査（生徒）の結果（資料2）	
1. エリア別モニター数	12
2. 印象に残った番組と主な理由（問2）	12
V テレビ番組についての調査（保護者）の結果（資料3）	
1. エリア別モニター数	14
2. 印象に残った番組と主な理由（問2）	14
3. 子どもに「見せたくない番組」と主な理由（問3）	16
4. 子どもに「見せたい番組」と主な理由（問4）	17
VI 保護者が子どもに「見せたくない番組」と生徒の視聴数・印象に残った番組について	19
VII 保護者が子どもに「見せたい番組」と生徒の視聴数・印象に残った番組について	20
VIII 資料	
1. 高校生のテレビ視聴調査票（資料1）	21
2. テレビ番組についての調査票（生徒用）（資料2）	22
3. テレビ番組についての調査票（保護者用）（資料3）	23

テレビ番組のモニタリング調査研究について

青少年を取り巻く社会環境の変化は加速度を増し、とくに高度情報化への進行は生活環境などに大きな変とりわけ「テレビメディア」が発信・媒介する情報は多様化し青少年の心身の成長に大きな影響を与えています。

テレビ普及初期の一台のテレビを囲んでの一家団欒の時代から、現在は子ども達それぞれが個室でテレビを見ている状況となり、テレビ番組の選択権(チャンネル権)は大人が見たい、子どもに見せたいと“指導”できた時代から子ども自身の選択によって自由に見ることができる時代になっています。

しかし、「テレビ番組」の中には明らかに“有害情報”と思われるものが多くあり、とくに過激な「暴力表現」・「性的表現」などは心身の成長過程にある青少年に保護者として「見せたくない」番組が多々あります。

中央教育審議会は、これらを踏まえてPTA等の教育関係団体がテレビ業界団体、広告主の団体等と定期的に協議を行う場を設け、効果的な話し合いが行われるよう答申しました。

このような状況のもと(財)全国高等学校PTA連合会は、高校生の健全育成のうえで問題のある「テレビ番組」を究明するため、高校PTA会員の皆様と生徒(高校2年生)それぞれ千余名の方にモニターを依頼しモニタリング調査を実施いたしました。

このモニタリング調査によって、保護者が「印象に残った番組」「子どもに見せたくない番組及びその理由」や、高校生が「見ている番組」「印象に残った番組と理由」等のデータを集計、分析いたしました。

このモニタリング調査結果をもとに、高校生の健全育成のために「テレビ番組」の内容について考究し、問題点の改善を働きかけていきたいと思ひます。

このモニタリング調査結果についてご報告いたしますので、今後の高校生の健全育成のための活動資料としてご活用いただきたくお願いいたします。

本モニタリング調査にご協力いただきました皆様に厚くお礼を申し上げます。

社団法人

全国高等学校PTA連合会

会 長 木 本 由 孝

健全育成委員会

委員長	佐藤祥司(奈良)
副委員長	浜敬子(東京)
委員	前田邦之(北海道)
	柴田陽子(青森)
	立見丈夫(群馬)
	藤森潔(長野)
	和田浅治(岐阜)
	一圓進三(大阪市)
	藤本功浩(広島)
	富崎一巳(佐賀)

I テレビ番組のモニタリング調査研究の計画

1. 目的

このような状況を考え、青少年が日常的に接する情報のうちテレビ番組やビデオ、図書、雑誌等の中で、青少年の健全育成のうえで問題のある情報を究明するために、高校生及び高等学校PTA会員を対象に、テレビ番組のモニタリングによる調査研究を実施し、青少年の健全育成のための資料に資することを目的とする。

2. 調査研究組織

高校生がよく視聴する時間帯のテレビ番組のモニタリング調査研究を実施するために、学識経験者等（3名）及び本連合会健全育成委員会委員（2名）による本調査研究協力者会議を設け、本調査研究の全体計画の策定、調査内容・調査結果の評価・調査研究報告書の作成を行う。

3. 調査方法

本調査研究協力者会議において、高校生が視聴するテレビ番組等及び保護者のテレビ視聴で印象に残った番組などについて、高校生・高等学校PTA会員による調査を行う。

4. 調査内容

この計画は、次の3種類の調査を行う。

	調査名	内 容	対象人数	対象者
1	高校生のテレビ視聴調査	高校生が実際に視聴した番組	1,280名	高校生
2	高校生のテレビ番組印象調査	高校生が視聴した番組で印象に残った番組	1,280名	〃
3	保護者のテレビ番組印象調査	保護者が実際に視聴した番組で印象に残った番組・子どもに見せたくない番組・子どもに見せたい番組	1,280名	保護者

5. 調査票

学識経験者等による調査研究協力者会議において調査票を作成する。

6. 調査対象

① 高等学校生徒

東京都・埼玉県・千葉県・群馬県・大阪府・京都府・兵庫県・奈良県の都府県の全日制普通高校及び専門高校の各都府県160名の生徒を調査対象とする。

② 高等学校PTA会員

東京都・埼玉県・千葉県・群馬県・大阪府・京都府・兵庫県・奈良県の都府県の全日制普通高校及び専門高校の各都府県160名のPTA会員を調査対象とする。

7. 対象者の選定方法

対象者の選定は、選定基準に従い当該都府県高等学校PTA連合会会長が行う。